

V09a **Mauna Kea 山頂での Thirty Meter Telescope 建設の実現に向けて**

家 正則、高見英樹、臼田知史、柏川伸成、青木和光、今西昌俊、秋田谷洋、高遠徳尚、佐々木敏由紀、西川淳(国立天文台)、山田亨(東北大・理)、ほか ELT WG

ELT プロジェクト室は、マウナケア山頂に 30m 望遠鏡 TMT を国際協力で建設することを目指し、TMT グループとの協議、日本の分担内容の検討を進めている。マウナケアでの建設はすばる望遠鏡の今後の観測装置機能強化構想とも連動しており、2010 年代後半以降の日本の光赤外の観測的研究を進展させる上で、最善の選択と判断した。2007 年 1 月の光赤外天文連絡会の勧告、2008 年 3 月の光赤外専門委員会の勧告を受け、ALMA の次の国立天文台の大型計画との位置づけを固めるべく国立天文台内外の関係各方面に働きかけている。

講演では、TMT, GMT, E-ELT の三大 ELT 構想の最新状況、TMT 計画の全体スケジュールや予算確保の見通し、TMT 計画の建設候補地の選定状況と決定までの道筋、望遠鏡主鏡セグメントの製作計画の検討状況、日本を中心とした観測装置の製作検討状況、日本学術会議主催の将来計画検討シンポジウム、などについて報告する。